

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者が年月の経過とともに重度化している。	支援方法、介護技術の向上をはかり、ひとりひとりに合った支援をしていく。	介護技術、支援方法についてスタッフ間で勉強したり、公的な研修に参加する。	6ヶ月
2		看取り介護を行っていく上での不安。	緊急時、看護師に連絡をとり、指示を仰ぎながら適切な支援を行う。	現在24時間看護師と連絡がとれる様になっている。	6ヶ月
3		家族との調整。(事前の話し合い)	利用者と家族の希望がある程度かなう様調整を図る。	事前に家族と利用者とスタッフで話し合いを持つ様になっている。	6ヶ月
4		ケアスタッフの認知症高齢者介護に対する技術の向上。	新しいスタッフ等、認知症高齢者の支援についてある程度勉強して対応する。	公的な認知症高齢者実務研修などを受け、技術の向上を図っている。	6ヶ月
5		地域との連携がうまく取れる様にする。	自治会や地区の行事、地域活動に積極的に参加し理解を深める。	地域の行事に参加するとともに町内清掃や子ども会の廃品回収等に協力している。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。